

中央図書館からのお知らせ

お知らせ 八戸市図書情報センターとの交換展示



2018年に苫小牧交流連携協定「はちとまネット」を結んだ青森県八戸市と交換展示を行います。「はちとまネット」って何？から、苫小牧との共通点も多い八戸の魅力を知ったら、三社祭開催中の八戸に行きたくなるかもしれませんね。

期間 7月27日(土)～8月29日(木)

会場 1Fカウンター前

募集 えがしらみちこさんと世界にひとつだけの絵本をつくっちゃおう♪ in とまこまい

静岡県在住の絵本作家えがしらみちこさんをお招きして、ミニ絵本のワークショップを行います。



日時 8月17日(土) 10時00分～12時00分

対象 小学生・大人のみ参加も可(定員20名 先着順)

会場 2階講堂

受付 8月1日(木)～中央図書館カウンターまたは☎0144-35-0511

お知らせ 8月は平和祈念旬間の展示とアニメ上映会があります

中央図書館では、平和祈念旬間事業として、1Fガラスケースで平和祈念展示を行うほか、8月11日(日)にアニメ上映会を行います。

募集 いとうみくさん講演会 物語を書くということ

児童文学作家いとうみくさんをお迎えし、作品に込めた思いや大切にしていることなどをお話いただきます。



日時 9月7日(土) 13時30分～(13時00分開場)

対象 どなたでも(定員70名 先着順)

会場 2階講堂

受付 8月1日(木)～中央図書館カウンターまたは☎0144-35-0511

共催 苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡協議会

お知らせ 子ども俳句教室の作品を展示

7月28日(日)に開催した「子ども俳句教室」の作品を展示いたします。参加したこどもさんたちが出光カルチャーパークを見て感じて詠んでくれた俳句をお楽しみください。

期間 8月3日(土)～8月18日(日)

会場 1Fエントランス



お知らせ 中央図書館児童コーナー入口で8月18日(日)まで「図書館を使った調べる学習コンクール」の過去の入賞作品展示中

「第5回 苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の作品受付期間は2019年9月1日から!

ぱ
び
る
す

2019年

8月号

編集／発行
苫小牧市立中央図書館
指定管理者TRC苫小牧
グループ

〒053-0011
北海道苫小牧市末広町
3丁目1番15号
TEL 0144-35-0511
FAX 0144-35-0519
✉ info@tomakomai-lib.jp

1階ガラス・検索機横展示

「平和祈念」

この季節になると必ず耳にする言葉『戦争』昨今リアルタイムで戦争を知らない世代がほとんどなのは周知の事と思われます。段々戦争悪の気持ちが風化されてはいないだろうか？

『そんなことはない』みんなそう思っています、ですが戦争最中の怖さ、苦しさ、ひもじさ、悲しさ、想像を絶する想い…戦争を知らない私たちは毎年、毎年、繰り返し戦争の悲惨さ愚かさを思い出しましょう。そして苦しい戦争を生き抜いて頑張っ生きてくれた私達のおじいさん、おばあさんに『ありがとう』と毎年感謝し続けましょう。

『子どもたちに伝えたい戦争と平和の詩100』水内 喜久雄／編著 たんぽぽ出版,2010.07 [911.56 ㊦]



8月の館内展示紹介

7月27日(土)〜8月29日(木)

新刊横展示

印象派の画家たち



2019年は「万能の天才」と言われたレオナルド・ダ・ヴィンチの没後500年に当たります。「モナリザ」は余りにも有名ですね。また、近代美術の礎となった印象派の画家ルノワール没後100年、セザンヌ生誕180年でもあります。そこで、印象派の画家たちを紹介します。17世紀以来フランス美術界は国家アカデミーに支配され宗教画・宮廷画が主流でした。そんな中、印象派はどのように生まれ、発展あるいは変化し、今日の近代美術に繋がっていったのでしょうか。作品と共に画家たちのエピソードもお楽しみください。

『印象派はこうして世界を征服した』フィリップ・フック／著 白水社, 2009.07 [723.0 イ]

児童丸テーブル展示

「恐怖の小部屋」

夏はなぜか怖い本を読みたくありませんか。怖いお話が本当は苦手なのに、でもなんだか読みたくなくて読んでみる。だけどすごく後悔する。そして夜眠れなくなったり、ふと夜中に目が覚めた時、天井を見ておびえてみたり…そんな体験どなたも一度はあるのではないのでしょうか。そーっと恐怖の小部屋のドアをノックして、背筋を凍らせ、ギャーと叫んでみてください。本を開いただけで恐ろしくなる、とっておきのおはなしを集めました。夏の暑さも涼しくなること間違いなし!

『ざしきわらし』 柳田 国男／原作, 京極 夏彦／文, 町田 尚子／絵 東京: 汐文社, 2016.12 [E サ] ㊦



高倉プロモーション様から苫小牧市立中央図書館に本を寄贈していただいた由来……

70年ほど昔のこと、『夕日と拳銃』という映画のロケが苫小牧で行われました。当時の新聞記事によると、主演の東千代之介さんらが(修学旅行の引率で苫小牧に来た宮沢賢治も泊まった)駅前の富士館旅館に宿泊したとあります。実は、この映画には主人公の弟役で、当時デビューしたばかりの高倉健さんが出演していました。2016年より全国の美術館で開催された『追悼特別展 高倉健』にも1コマ『夕日と拳銃』の出演シーンが掲載されています。出演作が苫小牧ロケ作品というご縁からでしょうか、高倉プロモーション様より『追悼特別展 高倉健』を当館にもご寄贈いただきました。2F郷土資料室前のケースに展示しております。

※なお、道立近代美術館より寄贈された同じ資料を2階参考郷土資料室カウンターで貸出しています。

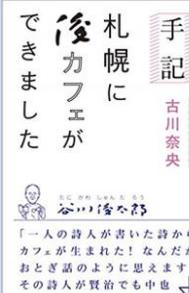
新刊案内 [郷土]

『札幌に俊カフェができました』

古川 奈央／著 東京:ポエムピース,2019.02 [H911.52 サ]

谷川俊太郎の一ファンである著者が、札幌に「俊カフェ」という展示するカフェ“を作りました。「俊太郎さんのものを集めた空間を作りたい」という熱意で、たいへんな努力と苦勞、いろんな人との出会いを重ね、ついにカフェを開きます。多くの俊太郎ファンが集い、アーティストやミュージシャン、朗読家の方々のイベントも開催されるようになり……。俊カフェができるまでを綴ったこの手記を読んだら、きっと今すぐその空間に足を運びたくります。

※郷土資料は予約ができません。ただし、2階参考郷土資料室カウンターで貸出・返却が可能です。





図書館の裏側や豆知識などあれやこれやを紹介する雑談日記。
第27回目は「郷土資料室」について

図書館員の
雑談日記

図書館の2階に参考・郷土資料室があります。今月は郷土資料について。
苫小牧のこと、アイヌ民族や北海道の歴史を知りたいときには、郷土資料室にたくさんの本があります。苫小牧に関するものだと、住宅地図や新聞・電話帳はかなり古いものも書庫に保管してあります。保管状態などによってはわからないものもありますが、郷土資料(茶ラベルのもの)は中央図書館参考郷土資料室カウンターでの貸出・返却という条件のもとで貸出できます。

難しい本しかないと思われがちですが、絵本や写真集、漫画を見に来る小さなお客様もいます。お子さんや苫小牧に詳しくない方にも親しんでいただけるよう、ちいさな改善を重ねたり、お客様に教えていただき、お客様と共に学びながら、スタッフも日々精進しています。

大切な資料を扱っているので飲食は厳禁! ですが、苫小牧や北海道のことを知りたい・学びたい方はぜひご活用ください。老眼鏡と拡大鏡と、welcomeのころをご用意してお待ちしております。



「図書館でこんなこと聞いても、いいのかしら?」と聞かれることも多いのですが、レファレンスとは、一言でいうと「調べもののお手伝い」のこと。調べたいことがあれば、遠慮なくお尋ねください。レファレンスカウンターでお待ちしております。
ここでは、実際にいただいたレファレンス事例をご紹介します。

ある特定の事柄に関する事実について、適切な回答が書かれた資料を根拠に情報を提供することを事実事項調査といいます。残念ながら、未解決事例がでてくることもあります。

数年前に「“よみきかせ”ということばのルーツを知りたい」というレファレンスがありました。図書館にも身近な言葉、司書としては何としてもお答えしたかったのですが、資料をめくってもめくっても解決できず。当館の資料だけでは足りないかも……と国立国会図書館や東京子ども図書館に二次調査をお願いしたものの、答えは出ませんでした。道内の大学の先生が同じテーマで研究していた資料にも明確な答えは出ていません。結局、未解決のまま、調査過程を回答した事例です。よみきかせ活動に関わる方なら気になるところですね? もしもご存知の方がいらっしゃったら、ぜひお知らせください。



新刊案内

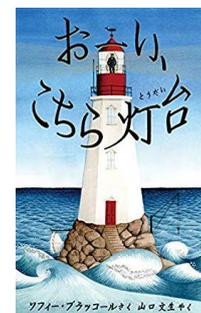
[児童書]

『おーい、こちら灯台』

ソフィー・ブラッコール/作, 山口 文生/訳 評論社, 2019.04 [E オ]

世界のさいはての小さな島のでっぺんの灯台のきれいな絵本が届きました。海と船の安全のため小さな灯台は「おーい、こちら灯台」と晴れた日も荒れ狂う嵐の日も建っています。そこには灯りをともす灯台守が住んでいます。レンズの手入れをし窓をみがき霧の日は霧笛をならし…誰かのためとはいえ孤独な仕事です。そんなある日補給船でやってきたのは……。

そして、月日がたち機械化が進む世界は灯台も人の手によるものではなくなります。でも、灯台と灯台守はいつまでも一緒に海の安全を願っているんだな。苫小牧にも国道36線すぐそばに赤と白の灯台を見ることができます。1965年から点灯されているそう。もっと知りたくなる絵本でした。



月	火	水	木	金	土	日
【休館日】 毎週月曜日 ・最終金曜日 【開館時間】 9:30~20:00			1 🌸	2	3	4 🎬📖
5 休館日	6	7	8	9	10 ★	11 🎬
12	13	14 🎬	15	16	17 🌸🌙	18 🎬🌑
19 休館日	20	21	22	23	24 ★	25 🎬
26 休館日	27	28 🎬	29	30 休館日	31	

イベントカレンダー

- 📖 よみきかせ(図書館スタッフ)
4日 14時~
- ★ よみきかせ(にじのはし)
10日 11時~
24日 11時~・14時~
- 🌙 ストーリーテリング(おはなしオルゴール)
17日 14時~
- ☀️ よみきかせ(苫小牧こどもの本の会)
18日 14時~
- 🎬 ナイトミニシアター
14日・28日 17時45分~
- 🎬 ミニシアター
毎週日曜日 13時30分~

🌸 青空こども図書館
1日 10時~

🌸 えがしらみちこさんワークショップ
17日 10時~

図書館ミニシアター

毎週日曜13時30分~
2階講堂・無料・申込不要

🎬 8/4 『チリ33人—希望の軌跡—』

洋画・吹替(127分) アントニオ・バンデラス [ほか] / 出演
2010年、チリで33人の作業員が鉱山の落盤により地中深くに取り残された。それから69日もの間、彼らを救うべく昼夜を問わず奔走する救出チームがいた。一刻を争う状況の中、不屈の精神、信念、そして魂の勝利を描く。

🎬 8/18 『ビッグ・シック』

洋画・字幕(120分) クメール・ナンジアニ [ほか] / 出演
パキスタンで生まれシカゴに移住したコメディアンのカメール。アメリカ人のエミリーと付き合っているが、家族は交際反対。そしてエミリーは昏睡状態になり…。盛りだくさんのトラブルを受と笑いでハッピーに変えた驚きの実話。

🎬 8/25 『レスキューせんエリアスと海ではたらく仲間たち』

アニメ(78分)
コーギー湾のレスキュー船エリアスは、洞窟で採れる金属“ノルウェジウム”を違法採掘している船を発見する。その金属は強力で、夜空のオーロラを消してしまうという。エリアスはオーロラを守るため仲間たちと洞窟へ向かう。

🎬 8/11 平和祈念旬間アニメ上映会 『キクちゃんとオオカミ(野坂昭如戦争童話集)』

アニメ(45分)
満州の一隅に、年老いた狼がいた。オオカミは日本人の一行を見つけ、襲おうと後をつけるが、キクちゃんという4才の女の子と親しくなり、襲えなくなってしまう。そしてあるとき、キクちゃんは、それまでのことを話し始め…。

図書館ナイトミニシアター

第2・第4水曜17時45分~
2階講堂・無料・申込不要

🎬 8/14 『スタンド・バイ・ミー』

洋画・字幕(88分) ウィル・ウィートン / [ほか] 出演
時代は1959年。オレゴン州キャッスルロックに住むゴードン4人の少年たちが、好奇心から線路づたいに“死体探し”の旅に出かける。少年時代のひと夏の冒険を描いた、スティーヴン・キング原作のノスタルジックな青春ドラマ。

🎬 8/24 『父と暮らせば』

邦画(99分) 宮沢りえ / 出演
原爆投下から3年後の広島。愛する人々を原爆で失った美津江は、1人の青年に恋をした。だが自分が生き残ったことに負い目を感じる彼女は、その恋心を押しさえつけようとする。そんなとき、目の前に父・竹造の幽霊が現れ…。

※ミニシアター・ナイトミニシアターの内容紹介は、TRC MARCより